



UM-07R0B-000

ユーザーマニュアル

# デュアルコントロールレバー (DI2) 油圧ディスクブレーキタイプ

## 重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整、交換などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方むけのディーラーマニュアルはウェブサイト(<https://si.shimano.com>)で公開しています。

**安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しく使用し、いつでも確認できる状態にしておいてください。**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

<b>危険</b>	「死亡や重傷を負う内容」です。
<b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
<b>注意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

## 安全のために必ずお守りください

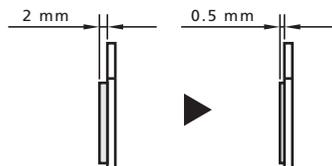
### 警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあるため、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を十分理解し慣れるようにする。ブレーキシステムの操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大けがをする可能性があります。
- 製品の分解、改造は行わない。動作不良を起こし、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。
- シフトスイッチ操作中、フロントディレラーに触れない。指を挟み重傷を負う可能性があります。**
- この油圧ブレーキシステムはリムブレーキタイプとは操作特性や制動特性が異なるため、自転車の使用法を練習して、ブレーキ特性を十分体得してから使用する。十分に体得せずに乗車した場合にはブレーキ操作により転倒し重傷を負ったり死亡事故につながる場合があります。
- 203 mmおよび180 mmディスクブレーキローターは使用しない。制動力が高くなりすぎるため、自転車のコントロールを失い転倒して重傷を負う可能性があります。
- ブレーキ特性を十分体得してから使用する。160 mmディスクブレーキローターは140 mmディスクブレーキローターに比べてブレーキ制動力が高くなっています。ブレーキ特性を十分に体得せずに乗車した場合にはブレーキ操作により転倒し重傷を負ったり死亡事故につながる場合があります。

- 回転中のディスクブレーキローターには触れない。ディスクブレーキローターに指が巻き込まれるなど、重傷を負う可能性があります。



- 乗車中、あるいは下車後すぐにキャリパー、ディスクブレーキローターに触れない。キャリパー、ディスクブレーキローターはブレーキ操作により高温になるため、やけどを負う可能性があります。
- ディスクブレーキローター、ブレーキパッドに油脂が付かないようにする。油脂が付いた状態で走行するとブレーキが効かなくなり転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。
- ブレーキパッドの厚みを確認し、0.5 mm以下の場合には使用しない。ブレーキが効かなくなり重傷を負う可能性があります。



- ディスクブレーキローターに割れ、変形が生じたまま使用しない。ディスクブレーキローターが破損して転倒し、重傷を負う可能性があります。新しいディスクブレーキローターに交換してください。
- ディスクブレーキローターの厚みが1.5 mm以下の場合には使用しない。アルミ面が出てきた状態でも使用しない。ディスクブレーキローターが破損して転倒し、重傷を負う可能性があります。新しいディスクブレーキローターに交換してください。
- ブレーキを連続してかけ続けない。ブレーキレバーストロークが急激に増加しブレーキが効かなくなり重傷を負う可能性があります。
- 油漏れが発生した状態のまま使用しない。ブレーキが効かなくなり重傷を負う可能性があります。
- 前ブレーキを強くかけない。前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
- 雨天時は制動距離が長くなるのでスピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をする。転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなるのでスピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をする。タイヤがスリップすると転倒して重傷を負う可能性があります。

### 注意

#### ■ シマノ純正ミネラルオイルに関する注意

- 取り扱う際は適正な眼の保護具などを着用し目に入らないようにする。目に入った場合は、真水で洗い流し、直ちに医師の手当てを受ける。炎症を起こす場合があります。
- 取り扱う際は保護手袋を着用する。皮膚に付いた場合は、石鹸水で十分に洗う。炎症を起こす場合があります。
- シマノ純正ミネラルオイルを使用する時は、換気に注意し、防毒マスクなどを着用する。シマノ純正ミネラルオイルの蒸気を吸引すると気分が悪くなる場合があります。
- シマノ純正ミネラルオイルの蒸気を吸引した場合は、新鮮な空気のある場所に移動する。体を毛布などでおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受けてください。

#### ■ 慣らし運転

- 慣らし運転がすすむにつれブレーキ制動力が上がるので注意を払い順応する。自転車のコントロールを失い衝突や転倒をして重傷を負う可能性があります。(ブレーキパッドあるいはディスクブレーキローターを交換した場合も同様)

## 使用上の注意

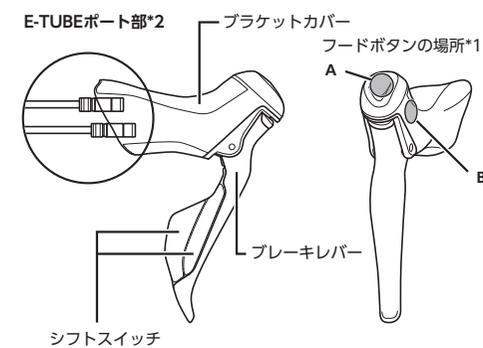
- 音鳴り防止やより良い性能を出すために、ブレーキパッドあるいはディスクブレーキローターを交換した際は、慣らし運転を行ってください。
- 変速に関係するすべてのスイッチ操作は、必ずクランクを回しながら行ってください。
- 雨天走行に耐える防水設計ですが水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の侵入により、故障あるいはサビの原因となります。
- 製品は丁寧に扱い、強い衝撃を与えないでください。
- E-TUBEポート部を水で濡らさないようにご注意ください。
- 清掃の際にシンナーや強い溶剤を使用しないでください。表面をいためるおそれがあります。
- 車輪を外した場合はパッドスペーサーを装着することをお勧めいたします。車輪を外した状態でブレーキレバーを握らないでください。パッドスペーサーを取付けずにブレーキレバーを握るとピストンが異常に飛び出します。飛び出した場合は販売店にご相談ください。
- ブレーキシステムの洗浄またはメンテナンスには、石鹸水を使用するか空拭きを行ってください。市販のブレーキクリーナーあるいは、鳴き止め剤などは使用しないでください。シールなどを損傷するおそれがあります。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。
- その他接続される機器、ブレーキの取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

## 乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- ブレーキオイルは漏れていませんか。
- 前後のブレーキは正しく作動しますか。
- パッドの厚みが0.5 mm以上ありますか。
- ディスクブレーキローターに割れ、変形は生じていませんか。
- シフトスイッチ操作で変速しますか。
- レバーはハンドルにしっかり取付いていますか。
- 操作時にふだんと異なる音はしませんか。

## 各部の名称



\*1 仕様により機能がないモデルがあります。

フードボタン搭載モデルでは、A (ブラケット先端部) または B (ハンドルバー内側方向) のいずれかの場所にフードボタンがあります。ブラケットカバーをめくり、フードボタンの場所を確認してください。

\*2 E-TUBEポート部の接続ポートの数はモデルによって異なります。

## 操作方法

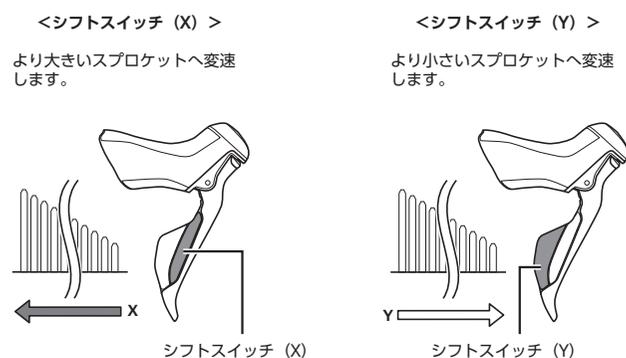
### ■ 変速操作方法

変速に関するすべてのスイッチ操作は、必ずクランクを回しながら行ってください。

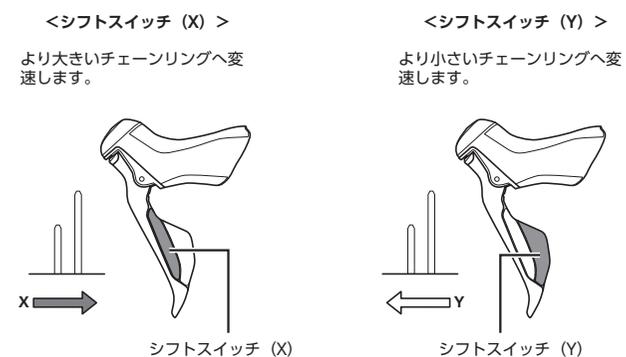
#### ■ フードボタン (初期設定)

フードボタンはワイヤレスユニットを介して信号を対応製品に送信します。操作および機能については対応製品によって異なります。対応製品の取扱説明書をご確認ください。

#### ■ リア側シフトスイッチの操作 (初期設定)



#### ■ フロント側シフトスイッチの操作 (初期設定)



もしチェーンが内側に落ちてしまったときは、シフトスイッチ (X) を1秒以上押し続けると、フロントディレイラーが最も外側の位置で10秒間維持され、チェーン落ちを復旧します。

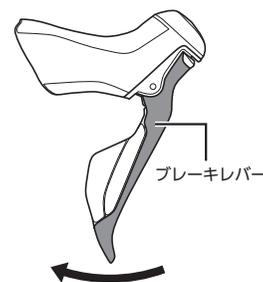
接続されるコンポーネントおよびソフトウェアのバージョンにより実際の動作は異なる場合があります。

各スイッチの設定は以下のように変更する事ができます。  
詳細の確認および設定変更は、購入された販売店へご相談ください。

- シフトスイッチ (X) と (Y) のシフトアップとシフトダウンの切替え
- リア側シフトスイッチとフロント側シフトスイッチの切替え
- 多段変速設定
- フードボタンをシフトスイッチとして設定

### ■ ブレーキ操作方法

この製品には、握り幅調整機能、フリーストローク調整機能があります。詳細の確認および調整は、購入された販売店へご相談ください。



## 慣らし運転の方法

ブレーキパッドやディスクブレーキローターの性能を最適な状態にするために、下記の手順に沿って慣らし運転を行ってください。

1. 障害物のない平坦で安全な場所で運転し、適度な速度まで加速します。
2. ブレーキレバーを操作して歩行速度になるまで減速します。  
片方のブレーキレバーのみで行ってください。この操作は注意して行ってください。特にフロントブレーキの慣らし運転をする際は、常に適度な力でブレーキレバーを操作してください。
3. 手順1と2を、フロントブレーキとリアブレーキで最低20回ずつ行います。  
回数を重ねるにつれブレーキの制動力が上がります。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口  
☎ 0570-031961  
Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ  
〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目7番地